



文部科学省「日本型教育の海外展開(EDU-Portニッポン)」

EDU-Portシンポジウム



アフリカにおける日本型教育の 更なる展開に向けて

2025

3.4

TUE

参加費無料

(日本時間)

14:00-17:30

場所 (対面) 全国都市会館2階大ホール

(東京都千代田区平河町2-4-2)

<https://www.toshikaikan.or.jp/access/>

(オンライン) Zoom

主催 文部科学省 言語 日本語(英語の同時通訳有)

今年8月には、第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が横浜で開催されます。そこで今年度のEDU-Portシンポジウムでは、アフリカに焦点を当て、日本型教育が積極的に推進されているエジプトにおける取組の現状、その他のアフリカの国々におけるEDU-Port事業の展開状況について、事業実施機関や大使館関係者から紹介します。そして、アフリカにおける日本型教育の更なる展開に向けた意見交換を行います。

プログラム

13:30 開場・受付

14:00 開会・アフリカにおけるEDU-Port事業の概要紹介 文部科学省 大臣官房国際課長 北山浩士

セッション1：エジプトにおける日本型教育の展開

14:15 「エジプトにおける特別活動を中心とした日本式教育の取組について」 国際協力機構(JICA) 岩崎理恵

14:25 「エジプトでの探究型数学教育事業」 カシオ計算機株式会社 熊田太郎

14:35 「エジプト国初等教育への日本型音楽教育導入事業」 ヤマハ株式会社 成田有希

14:45 「算数強化のデジタル学習を通じた学力向上と非認知能力育成の成果検証」 株式会社すららネット 藤平朋子

14:55 「エジプトと日本の職業(ものづくり)教育の質の向上、相互理解の促進事業」 大阪府立城東工科高等学校 田辺仁史

15:05 「福井型教育による学びの質的向上 日本・アフリカ域内協働展開事業」 福井大学 柳澤昌一

15:15 「日本型教育とエジプトの歩み」 駐日エジプト・アラブ共和国大使館 Prof. Mahmoud M. Sakr

セッション2：アフリカ各国における日本型教育の展開

15:25 「ウガンダ共和国の遺児の支援施設での学力向上への貢献事業」 株式会社公文教育研究会 三好健太郎

15:35 「ウェルビーイングを目指す協働学習を通じた国際理解教育」 株式会社EDU-Mo 熊田萌

15:45 休憩

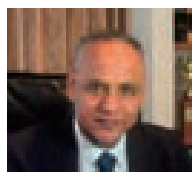
15:55 パネルディスカッション「アフリカとの教育協力 EDU-Portが果たし得る役割」

東京大学公共政策大学院 鈴木寛／東京大学大学院 教育学研究科 北村友人／ほか、7名

16:55 ポスターセッション

17:30 閉会

登壇者



Prof. Mahmoud M. Sakr

駐日エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局 参事官

エジプト科学研究技術アカデミー会長、エジプト科学技術開発基金(STDF)代表、エジプト国立研究センター遺伝子工学・バイオテクノロジー研究所所長、Journal of Genetic Engineering and Biotechnology (Elsevier)エジプト編集長を歴任。また、SESAME(ヨルダン)及び、NAM(インド)副所長、ロシアの合同原子核研究所(JINR)エジプト全権代表も務めた。



鈴木寛

東京大学公共政策大学院
教授

東京大学法学部卒業。通商産業省、慶應義塾大学助教授を経て参議院議員(12年間)。文部科学副大臣(二期)、文部科学大臣補佐官(四期)などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術イノベーションに関する政策づくりや各種プロデュースを中心に活動。現在、World Economic Forum Global Future Council member、Teach for All Global board member、日本サッカー協会参与、NPO法人日本教育再興連盟代表理事(ROJE)等を兼務。



北村友人

東京大学大学院
教育学研究科 教授

カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。専門は、比較教育学、国際教育開発論。国連教育科学文化機関、名古屋大学、上智大学を経て、現職。東京都教育委員も務める。主な研究テーマは、(1)途上国における教育政策や教育実践、(2)アジアにおける高等教育の国際化と「知識外交」、(3)「持続可能な開発のための教育(ESD)」を通じた市民性の育成。近著に『SDGs時代の教育』(編著、学文社)。



岩崎理恵

国際協力機構(JICA)
人間開発部 基礎教育グループ
基礎教育第二チーム 課長

2003年旧国際協力事業団(現JICA)入団。大阪国際センター、人間開発部基礎教育グループ、セネガル事務所(教育担当)、コンゴ民主共和国事務所(保健、職業訓練担当)、総務部、アフリカ部(TICAD推進、仏語圏アフリカ(コートジボワール、ベナン)担当)等を経て現職。関心分野はアフリカ(仏語圏アフリカ)、教育開発。



熊田太郎

カシオ計算機株式会社 教育統轄部
戦略企画部 部長

1995年カシオ計算機入社。欧州本部勤務を経て教育事業グローバル戦略担当。2019年より現職。欧米中等教育でノート鉛筆同様に自社関数電卓が授業/試験で活用され問題解決型の学びが実践されていることに感銘を受け、より多くの国々での教育への貢献を目指し現在EDU-Port事業をタイ、インドネシア、エジプト、バングラデシュで推進中。



成田有希

ヤマハ株式会社
楽器・音響営業本部
AP営業統括部
音楽普及グループ 主任

2019年ヤマハ株式会社入社。日本国内販売会社で管弦打楽器のマーケティングに従事後、2023年4月より現職。新興国での楽器演奏人口拡大に向けた施策に従事。エジプトにおけるプロジェクト推進や教材制作を務め、エジプト日本学校の音楽教員育成に取り組む。



藤平朋子

株式会社すららネット
執行役員

経営コンサルティング会社にて複数のフランチャイズ事業開発を経て同社からスタートしたeラーニングの教育事業に2012年より参画。2014年から2017年にJICAプロジェクトを通じてスリランカ、インドネシアで、算数eラーニング教材「Surala Ninja」を用いた教育サービス事業を立上げる。その後もインド、フィリピン、エジプトなどへ展開。2022-2023年はインドネシアの中学生を対象としたアジア開発銀行の大規模実証事業に参画した。



田辺仁史

大阪府立城東工科高等学校
教諭

大阪府立城東工科高校にて、電気的基础知識および実践的な技術の習得を支援する指導に従事。生徒が技術を活かして社会で活躍できるよう、理論と実践を融合させた学びの充実に努めている。また、エジプトのエルアラビ高校との技術教育交流を推進し、異文化理解を深めながら国際的な視野を養う取組にも注力。これらの活動を通じて、次世代の技術者育成とグローバル人材の輩出に貢献している。



柳澤昌一

福井大学
連合教職開発研究科
特命教授

2019年から2023年にかけて福井大学大学院連合教職開発研究科長を歴任。専門分野は、社会教育実践研究、学習過程研究、組織学習研究。2019年より、エジプト・日本教育パートナーシップに基づくエジプト日本学校(EJS)の教員研修に携わる。



三好健太郎

株式会社公文教育研究会
全社戦略推進本部副本部長
ライセンス事業推進部部長

1992年公文教育研究会入社。教室事業として鹿児島、香川で責任者を経験。また、本社スタッフとして情報統括部門、広報部門、新規事業部門などを経験する。社内で新規部署の立ち上げは今部署で4回目。2021年7月より現職にてライセンス事業の新規事業開発業務を担う。2024年7月より、全社戦略推進本部副本部長を兼任。



熊田萌

株式会社EDU-Mo
代表取締役

英語教育及び日本語教育に約20年間従事。中学校、大学、専門学校での勤務を経て2022年に起業。地元福島県を中心に、日本人向けの英語・国際理解教育や外国人向けの日本語研修、企業研修の講師などを務めている。現在は国内外の12か国の学習者に日本語指導をしている他、地元の学校や塾と連携し、協働学習に注力している。

参加申込み・問合せ先

下記URLより申込みフォームに必要事項を記入の上、ご登録ください。

<https://forms.gle/EsaLCUb9XiBU26Fx9>

申込み締切

2月27日(木)(日本時間)正午

問合せ先

EDU-Portニッポン事務局／株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

Email

ml-eduport@k-rc.co.jp

電話

03-3288-1164 / 070-4284-0592 (平日10時～17時)



申込みはこちら